

2024 年 6 月 7 日
資 料 提 供

国道424号有田川町修理川地内の崩土による通行止について（第2報）

国道424号（有田川町修理川地内）において、6月6日に発生した崩土について、別紙のとおり、道路防災ドクター（近畿地方整備局）により現地調査を実施していただきましたので、診断内容を公表します。

診断内容を踏まえ、早急に調査、対策を進めて参ります。

和歌山県 県土整備部 道路局 道路保全課
担当 前、天野
TEL (073) 441-3110、3115（直通）

国道424号 有田川町修理川崩土 道路防災ドクター 現地調査・診断内容

【所 感】

- ・今回崩土の原因として、下記が考えられる。
 - ＜素因＞岩盤は流れ盤構造であり、潜在的に道路への崩壊が起きやすい地質状況であった。
 - ＜誘因＞長年の風雨による風化で岩盤が劣化、また、斜面上部で樹木が発達しており、割れ目に沿って樹根が入り込んで揺さぶり、雨水浸透が発生した。
- ※短期間での降雨による影響は、地肌の乾湿状況から考え難い
- ・今後の崩土拡大等のリスクについては、当該地の砂岩泥岩互層が原因となって弱面部からさらに崩壊が拡大していくことが懸念される。

【今後の対策について】

- ・応急復旧として、落ち残った風化岩部の除去と崩壊面整形を行うこと。
- ・現在の通行止め状況を解消するためには、仮設防護柵（崩土幅をカバーできるだけの延長でH鋼建込み、および矢板設置）を施すことが必要である。
- ・道路交通の安全を確保するために、その他必要な対策工等の実施を検討することが望ましい。
- ・今後の恒久対策については、斜面保護として鉄筋挿入工等の対策工実施が必要となる。対策工設計に先んじて調査ボーリング工等による岩盤部の基礎資料を取得して適切な定着長等を決めていくことが重要である。

【今後の道路維持管理について】

- ・今回の崩土発生は長く雨風にさらされた結果、風化が進行したものであり、同様の災害形態が他地区等で発生する可能性が考えられる。
- ・上記を受けた調査、点検を検討することが望ましい。

なお、今回の診断結果については本日現地調査で得られた情報に基づくものであり、今後の調査等の新たな情報などによって診断結果が変更となる可能性があります。

※道路防災ドクターとは

災害等により損傷した施設等の調査・復旧方法や道路施設の機能保全に必要な対策および管理計画等に関する指導や助言を頂く高度な技術や専門的知識を有する学識経験者

【現地調査の状況】

